



ることが多い。
 ・年に二、三回、東京で衣類などをまとめ買いする。
 ・商店街の閉店時刻が早すぎる。
 ・市内は遊びの選択肢が少ない。
 ・大館にはぎわえる場所がない。
 ・カラオケなどは新曲がすぐ入ってこない。
 ・大館の駅前には活気がなく、なんとなくさびしい気がする。
 ・弘前市や盛岡市は街全体が明るい感じがする。
 ・プールなどのスポーツ施設が少ない。
 ・など、買い物や遊びで、いわゆる都市機能を持つ弘前市や盛岡市へ出かけていくという意見やファッション、流行などの情報発信基地との同時指向性を求める意見が多く出された。
 こうした若者の率直な意見を施策に結びつけ、若者が望んでいる環境がつけられていくこと

が期待されます。

ワーク委員会の

役割

大館市ヤングアフター5ワーク委員会は、今年度と来年度各四回ずつ開催が予定されており、二年間にわたって若者に魅力のある地域づくりはどうあればよいかを探ります。

実際に若者たちの生の声を施策に反映させるために進められるもので、今年の「地域ビジョン中間報告」、来年の最終提言に向けて検討することになっています。

今後、ワーク委員会では、より多くの若者の意見を聴き、委員会のまとめる街づくりの参考にするため、アンケート調査を実施し、「大館の魅力」、「大館の課題」、「大館の未来像」などをつかんでいくことにしています。

これらをもとにして、
 ・若者の創意と参加によるアフター5のためのソフト事業の提案
 ・既存のアフター5関係施設の改善策
 ・若者のアフター5に関する広報、啓発方策の提案
 をまとめることにしており、ソフト・ハードの両面から若い人たちの感覚にマッチした、委員

会独自の街づくりの構想を提唱していくことにしています。



若者の地域定住

解決策として期待

就学や就労のため若者たちがどんどん市外、県外へ流出し、なかなか歯止めがかからない現状が続いています。

この課題を克服するため、これまで県内各地において様々な地域づくりが試みられてきました。

しかし、若者の発想や感性に視点があてられたものはあまり多くなく、今回の委員会の設置は、若者の自由な発想を地域づくり、地域活性化にいかそうとするものです。

若者が集う、にぎわいのある活力みなぎる地域づくりを目指

すヤングアフター5ワーク委員会からの提言が、若者の地域定住を促進させる解決策として大いに期待されます。

二十一世紀に向けた

まぢゅんす

華やかな都会のイメージにあらがれて、多くの若者たちが都会へ流出した時代もあったが、最近では「物より心」の充実を求めるといった価値観の変化が見られ、地方でのゆとりある生活が見直されつつあります。

また、高学歴化や週休二日制の導入による余暇時間の増大、価値観の多様化など、さまざまな社会要因に対応した施策が求められています。

若者の地域定住をはかるため、

就学や就業の場の確保、都市機能の充実による都市的サービスの向上、居住環境の整備が急がれる今、二十一世紀を展望した若者が集まって考える、魅力と活力あふれる地域づくりが大切です。



ヤングアフター5 ワーク委員会委員

(◎委員長 ○副委員長)

氏名	所属
◎ 竹村 周夫	青年会議所
○ 村木 蚕生子	勤労青少年ホーム
○ 畠山 真子	大館高校1年
○ 浅利 早苗	大館桂高校1年
○ 畠山 英輝	大館工業高校1年
○ 近田 奈緒美	大館商業高校1年
○ 岩井 智子	大館鳳鳴高校2年
○ 渡邊 美雪	秋田職能短大1年
○ 鎌田 真吾	
○ 高崎 融	勤労青少年ホーム
○ 海老名 智子	
○ 藤原 嘉則	J A 大館市
○ 伊多波 幸子	
○ 浅利 新二	大館市商工会議所
○ 杉本 美紀子	